

□ 主な内容

【「地球温暖化対策計画」の閣議決定について】

わが国の地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するための計画である「地球温暖化対策計画」が閣議決定されました。

【全国カーシェアリング実施規模調査の結果公表！】

エコモ財団は、例年行っているわが国のカーシェアリング車両台数と会員数の推移について調査し、その結果を公表しました。

□ 目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 118 回)

●「『エコ通勤』のきっかけをどう創ればよいのか？」

【福島大学経済経営学類 准教授 吉田樹】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 118 回)

●「はだの交通スリム化に向けた取り組み」

【秦野市都市部公共交通推進課 主任主事 三嶽恵介】

3. ニュース／トピック

●「地球温暖化対策計画」の閣議決定について【首相官邸】

●平成 27 年度エネルギーに関する年次報告(エネルギー白書)の閣議決定について【経済産業省】

●平成 28 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(先進環境対応トラック・バス導入加速事業)に係る補助事業者(執行団体)の募集について【環境省】

●平成 28 年度低炭素化に向けた公共交通利用転換事業に係る補助事業者の募集の採択結果について【環境省】

●第 9 回 国際交通大臣会議(ITF)の開催について【国土交通省】

●全国のカーシェアリング実施規模に関する調査の結果公表について【エコモ財団】

●平成 28 年度エコドライブ活動コンクール募集開始について【エコモ財団】

●日本初！バス車内の混雑状況に対応したバスロケーションシステムの提供を開始【神戸市】

●いわき市久之浜・大久地区において、公共交通実証運行を実施【いわき市】

●コミュニティサイクル「4 区乗り入れ実証実験」の継続について【千代田区、中央区、港区、江東区】

- 平成 28 年度低公害車導入促進助成事業について【全日本トラック協会】
- 「第 10 回 JAF みんなのエコ川柳」入賞・入選作品発表について【一般社団法人日本自動車連盟】
- 宮城のカーシェアリング協会が車貸し出しで被災地支援【日本カーシェアリング協会】
- 焼酎粕(かす)から低コスト充電電池を開発【福岡工業大学】
- パーソナルモビリティ「UNI-CUB β」初めて常設乗車体験サービスを開始【本田技研工業株式会社】
- 阪神電鉄+オリックス自動車、鉄道&カーシェアで連携【阪神電気鉄道株式会社、オリックス自動車株式会社】
- 観光客等の利便性向上のため、宿泊施設を拠点とした電気自動車によるカーシェアリングを開始【株式会社ユアーズホテルフクイ】
- 公共交通バスを排出ゼロ車両へ切り替えると発表【オランダ社会基盤・環境省】

4. イベント情報

- 第 6 回地域の交通環境対策推進者養成研修会【2016/10/26-28】
- ITS あいち県民フォーラム 2016【2016/5/31】
- モビリティウィーク&カーフリーデー2015 報告会 & 2016 説明会【2016/6/1】
- 京都スマートシティエキスポ 2016【2016/6/1-3】
- エコライフ・フェア 2016【2016/6/4-5】
- スマートコミュニティ Japan2016【2016/6/15-17】
- 九都県市エコドライブ講習会(エコトレーニング)【2016/6/14-27】
- 第 9 回 ECOMO 交通バリアフリー研究助成報告会【2016/6/21】
- 第 11 回日本モビリティ・マネジメント会議【2016/7/15-16】
- 第 23 回 ITS 世界会議メルボルン 2016【2016/10/10-14】
- くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2016【2016/10/29,30】
- 第 14 回 ITS シンポジウム 2016【2016/11/10,11】
- エコプロ 2016(第 18 回)【2016/12/8-10】

5. その他

- EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)の学校支援を募集中！(締切:6 月中)
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 118 回)

「『エコ通勤』のきっかけをどう創ればよいのか？」

【福島大学経済経営学類 准教授 吉田樹】

先日、私の職場に「ノーマイカーデーのお知らせ」がありました。教職員向けのウェブサイトに掲載されたものですが、「〇月〇日に『ノーマイカーデー』を実施致しますので、参加のご協力をお願いいたします。」との依頼が主催者名で書かれていました。このお知らせは、今の大学に赴任してから何回も見かけていますが、少なくとも私のまわりでは「明日は『ノーマイカーデー』だから電車通勤にしよう。」という話は聞いたことがありません。また、「ノーマイカーデー」の主目的に渋滞緩和が挙げられていたのですが、公共交通のサービス水準が高くない地方部では、「エコ通勤」に協力した人のメリットが小さく、むしろ、協力しなかった人の方が渋滞緩和による所要時間短縮効果を楽しむことができるジレンマもありそうです。

このように、お題目の域を出ずに「マンネリ化」してしまった取り組みは、全国的にも少なくないのではないのでしょうか。このメールマガジンの読者には、「エコ通勤」を仕掛ける立場の方も多くいらっしゃると思いますが、「マンネリ化」を打破する重要な鍵は「ライフスタイルの提案」にあると考えています。

私が長年関わってきた青森県八戸市は、平成 17 年度に「国土交通省環境行動計画モデル事業」に選定された経緯がありますが、以来続いてきた「エコ通勤」の取り組みが「マンネリ化」しつつありました。こうしたなか、平成 26 年度から、青森県が毎年秋に実施する県下一斉ノーマイカーデーにあわせて、通勤用バス回数券「ほろよい&スッキリ回数券」を枚数限定で販売しています。八戸市の中心街にある横丁には、毎晩、酒と肴を求める多くの市民や観光客が訪れていますが、市内の各方面に向けて多数の路線バスが発着するエリアでもあります。この回数券は、市内を運行する八戸市交通部と南部バスの双方で利用できるものですが、「朝用」(始発から朝 9 時まで降車する便)と「夜用」(20 時以降に降車する便)のチケットが 1 回ずつ綴られていることが最大の特徴です。ほろ酔い気分で「夜用」のチケットを利用し、翌朝は「朝用」のチケットでスッキリ出勤することができるため、マイカー通勤の方でも気軽に利用できるスタイルになっています。また、回数券の告知も飲食店を中心に行われ(ポスターを貼り出してくれた店舗もあります)、予定枚数は早々に完売となったようです。こうした「ライフスタイル」に根ざした企画が、「エコ通勤」を促すきっかけになるのかもしれない。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 118 回)

●「はだの交通スリム化に向けた取り組み」

【秦野市都市部公共交通推進課 主任主事 三嶽恵介】

秦野市では、交通渋滞の緩和を主な目的として、平成 16 年度に秦野市TDM(交通需要マネジメント)実施計画を策定し、平成 21 年度までの 5 年間、市民、事業所、交通事業者等との協働により、ノーマイカーデーやパーク&バスライド等、11 の施策からなる「はだの交通スリム化プロジェクト」に取り組みました。

その取り組みを総括して有識者等による秦野市交通需要マネジメント検討会から「はだの交通スリム化に向けた提言」がなされ、秦野市では、その趣旨を尊重し、新たに地球温暖化対策の視点を加え、施策体系を見直しつつ、自発的かつ継続的に取り組むことができる施策の定着化と強化を図ることとしました。

11 の施策の中で、ノーマイカーデー等着実に取り組んできた施策のうちのひとつが、「交通スリム化教育」です。

交通スリム化教育は、小学 5 年生が社会科の授業で自動車工業について勉強することから、小学 5 年生を対象に交通渋滞や環境負荷を少なくする、かしこい車の使い方や、車の利用方法の工夫について教育及び啓発を図ることで、過度に車に依存しない将来の利用を誘導することを目的としています。また、同居の家族に対しても、子どもの立場から問題提起や話題提起をすることで、間接的に車の利用を考える機会となるようにしています。

授業は、スライド等を使用した「座学」(1 時限)と公共交通機関や自転車を利用して、市内の公園やスーパー等への移動方法を考える「行動プランの作成」(2 時限)の合計 3 時限で実施しています。また、授業による効果を把握するため、児童及び保護者にアンケート調査も実施しています。(授業実施前 1 回、後 1 回)アンケート調査については、後日調査結果の概要をとりまとめたフィードバック資料を作成し、校内で掲示等をしていただいています。

当初は、市内 13 小学校での輪番 2~3 校で実施していた交通スリム化教育ですが、平成 27 年度は主体的に取り組む学校も含めて 10 校に実施していただきました。このように取り組みを拡大できた主な要因としては、教育委員会や現場である小学校に理解・協力していただいていることであると考えています。

今後も関係者と協働し、「はだの交通スリム化」に向け自発的かつ継続的に取り組むことができる施策の定着化と強化を図っていきます。

3. ニュース／トピック

●「地球温暖化対策計画」の閣議決定について【首相官邸】

COP21 で採択されたパリ協定や昨年 7 月に国連に提出した「日本の約束草案」を踏まえ、わが国の地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するための計画である「地球温暖化対策計画」が閣議決定されました。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/ondanka/>

●平成 27 年度エネルギーに関する年次報告(エネルギー白書)の閣議決定について【経済産業省】

経済産業省では、エネルギー政策基本法第 11 条に基づき、平成 27 年度エネルギーに関する年次報告が閣議決定されたことを発表しました。

<http://www.meti.go.jp/press/2016/05/20160517001/20160517001.html>

●平成 28 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(先進環境対応トラック・バス導入加速事業)に係る補助事業者(執行団体)の募集について【環境省】

環境省では、運輸部門 CO₂ 排出量の約 3 割を占めるトラック・バス由来の CO₂ 排出削減を図るため、トラック・バスにおける先進環境対応車(FCV、EV、PHV、HV、CNGV)の普及初期段階における導入加速を支援する「先進環境対応トラック・バス導入加速事業」を実施する法人について公募を行います。公募期間は平成 28 年 6 月 10 日までです。

<http://www.env.go.jp/press/102504.html>

●平成 28 年度低炭素化に向けた公共交通利用転換事業に係る補助事業者の募集の採択結果について【環境省】

環境省は、平成 28 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(低炭素化に向けた公共交通利用転換事業)に係る補助事業者の募集について、厳正な審査の結果 5 件全てを採択したことを発表しました。

<http://www.env.go.jp/press/102456.html>

●第 9 回 国際交通大臣会議(ITF)の開催について【国土交通省】

国土交通省は、国際交通大臣会議(ITF)第 9 回大臣会合が開催されたことを発表しました。国際交通大臣会議(ITF:International Transport Forum)は、2007 年に発足した国際枠組みで、2008 年以降、交通政策に関する方向性を打ち出すことを目的として、毎年 1 回、加盟 57 か国の交通担当大臣、交通関連企業の CEO 級、学識経験者等が集まり、世界全体にとって戦略的に重要なテーマを取り上げて議論しています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo05_hh_000144.html

●全国のカーシェアリング実施規模に関する調査の結果公表について【エコモ財団】

エコモ財団は、わが国のカーシェアリング車両台数と会員数の推移について例年調査しています。2016年3月の調査では、車両ステーション数は10,810カ所(前年比14%増)、車両台数は19,717台(同20%増)、会員数は846,240人(同24%増)と、引き続き増加していることを公表しました。

http://www.ecomo.or.jp/environment/carshare/carshare_graph2016.3.html

●平成28年度エコドライブ活動コンクール募集開始について【エコモ財団】

エコモ財団では、独自に様々なエコドライブを普及推進するための活動を実施しています。この活動の一環として、エコドライブ活動について優れた取り組みを行っている事業者を表彰する「エコドライブ活動コンクール」が昨年度に引き続き開催されます。現在参加者を募集しており、申込期間は7月15日(金)までです。

<http://www.ecodrive-activity-concours.jp/>

●日本初！バス車内の混雑状況に対応したバスロケーションシステムの提供を開始【神戸市】

神戸市では、循環路線バス「シティー・ループ」において、スマートフォンアプリの提供サービスとしては日本初となるバス車内の混雑状況に対応したバスロケーションシステムの提供を開始します。本システムでは、バスに搭載されたタブレット端末から取得した位置情報と混雑情報をもとに、バスの走行位置と車内の混雑状況がバス利用者に提供されます。バス利用者は、神戸市が配信する公式観光アプリにて簡単に情報を確認することができます。

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2016/04/20160428142001.html>

●いわき市久之浜・大久地区において、公共交通実証運行を実施【いわき市】

いわき市では、当該地区住民自らが地域において将来に亘り持続可能な、真に必要な公共交通の構築に向け、地域のニーズ把握やサービスの充実等の検討、運行に際した課題等の抽出を行うことを目的として、本市と当該地区住民が一体となって「久之浜・大久地区公共交通実証運行」を実施します。

<http://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1458884825652/index.html>

●コミュニティサイクル「4区乗り入れ実証実験」の継続について【千代田区、中央区、港区、江東区】

千代田区、中央区、港区、江東区では、自転車やサイクルポート(自転車の貸出・返却場所)を相互に利用できる4区乗り入れ実証実験を行っています。実証期間は平成28年4月30日までとしていましたが、5月1日以降も、当面の間、実験を継続します。利用方法・利用料金に変更は無く、継続期間中は、いずれかの区の会員であれば4区すべてのサイクルポートと自転車の利用ができます。

<http://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/machizukuri/kankyo/cycle/4ku-noriirekeizoku.html>

https://www.city.chuo.lg.jp/kusei/kohokotyo/koho/h28/280421/01_03/index.html

<http://www.city.minato.tokyo.jp/tiikikoututan/sharing.html>

<http://docomo-cycle.jp/koto/information/20160502/>

●平成 28 年度低公害車導入促進助成事業について【全日本トラック協会】

全日本トラック協会では、環境問題に積極的に取り組み、低公害車の普及促進のさらなる発展を図ることを目的として、都道府県トラック協会に所属する会員事業者が、事業用低公害車を導入する場合に、通常車両価格との差額の一部を助成します。

http://www.jta.or.jp/kankyo/teikogaisha/low-emission_vehicles/low-emission_vehicles16.html

●「第 10 回 JAF みんなのエコ川柳」入賞・入選作品発表について【一般社団法人日本自動車連盟】

一般社団法人日本自動車連盟は、環境保全活動の一環として、川柳を通じて身近なエコ活動への意識を高めることを目的としたコンテスト「JAF みんなのエコ川柳」を今年も実施しました。10 回目となる今回は特に学校など団体での応募が大幅に増加し、過去最高の 25,336 句の応募がありました。

http://www.jaf.or.jp/profile/news/file/2016_09.htm

●宮城のカーシェアリング協会が車貸し出しで被災地支援【日本カーシェアリング協会】

日本カーシェアリング協会では、熊本地震で被災された方からの電話を受け、車を被災された方々へカーシェアリングによるサポートを開始しました。

<http://www.carsharing360.com/kumamotohe/>

●焼酎粕(かす)から低コスト充電電池を開発【福岡工業大学】

福岡工業大学は、焼酎製造時に生じる「粕(かす)」を活用した充電電池を開発しました。この充電電池は瞬間的に大きな電気を充放電でき、将来的には電気自動車、小型モバイル機器、家庭用の充電電池などへの実用化が期待できます。

<http://www.fit.ac.jp/newsrelease/archives/29>

●パーソナルモビリティ「UNI-CUB β」初めて常設乗車体験サービスを開始【本田技研工業株式会社】

本田技研工業株式会社では、日本橋三越本店にて、パーソナルモビリティ「UNI-CUB β(ユニカブ ベータ)」の乗車を有料で体験できるサービスを開始しました。今回、商業施設としては初めて常設での乗車体験サービスを実施することにより、新たなビジネスモデルの構築に向けて利用シーンの拡大を図ります。

<http://www.honda.co.jp/news/2016/c160426.html>

● 阪神電鉄＋オリックス自動車、鉄道 & カーシェアで連携【阪神電気鉄道株式会社、オリックス自動車株式会社】

阪神電気鉄道株式会社とオリックス自動車株式会社は、阪神沿線での交通利便性の向上（フィーダー輸送の拡充）を目的として業務提携を行い、阪神電鉄各駅へのカーシェアリング車両の設置を推進するとともに、両社が連携した取組みを開始します。

<http://www.hanshin.co.jp/company/press/detail/1668>

http://www.orix.co.jp/auto/press/pdf/release_160425.pdf

● 観光客等の利便性向上のため、宿泊施設を拠点とした電気自動車によるカーシェアリングを開始【株式会社ユアーズホテルフクイ】

株式会社ユアーズホテルフクイでは、観光客等の利便性向上のため、宿泊施設を拠点とした電気自動車によるカーシェアリングを開始します。福井県としては、北陸新幹線敦賀開業を見据え、県内の二次交通の強化を図る一環として、今後宿泊施設を拠点としたカーシェアリングサービスの充実を図りたいとしています。

<http://www2.pref.fukui.jp/press/view.php?cod=cLad9e145913379819>

● 公共交通バスを排出ゼロ車両へ切り替えると発表【オランダ社会基盤・環境省】

オランダ社会基盤・環境省は、2025年以降のオランダの新たな公共交通バスを、すべて排出ゼロ車両にすると発表しました。電気および水素駆動のバスを増やすことで汚染防止と温室効果ガス排出削減を進めます。

<https://www.government.nl/ministries/ministry-of-infrastructure-and-the-environment/news/2016/04/15/dutch-public-transport-switches-to-100-percent-emissions-free-buses>

4. イベント情報

●第6回地域の交通環境対策推進者養成研修会

日時:2016年10月26日(水)~28日(金)

場所:仙都会館 8階 会議室など

主催:EST 普及推進委員会、エコモ財団、国土交通省東北運輸局

●ITS あいち県民フォーラム 2016

日時:2015年5月31日(火)13:30~16:30

場所:栄ガスビル5階 栄ガスホール

主催:愛知県 ITS 推進協議会

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kotsu/28itsforum.html>

●モビリティウィーク&カーフリーデー2015 報告会 & 2016 説明会

日時:2016年6月1日(水)18:00~20:00

場所:JICA 地球広場・セミナールーム 601/602

主催:一般社団法人カーフリーデージャパン

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan/e/5489cadc80f1ef37d19c2ca316f1d84d>

●京都スマートシティエキスポ 2016

日時:(1日目)2016年6月1日(水)10:00~17:30

(2日目)2016年6月2日(木)10:00~17:30

(3日目)2016年6月3日(金)10:00~16:30

場所:国立京都国際会館、けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK) ほか

主催:京都スマートシティエキスポ 2016 運営事務局

<http://expo.smartcity.kyoto/>

●エコライフ・フェア 2016

日時:(1日目)2016年6月4日(土)11:00~17:00

(2日目)2016年6月5日(日)10:00~17:00

場所:代々木公園

主催:環境省

<http://ecolifefair.env.go.jp/>

●スマートコミュニティ Japan2016

日時:2015年6月15日(水)~17日(金)10:00~17:00

場所:東京国際展示場 東ホール(東京ビッグサイト)

主催: 日刊工業新聞社

<http://biz.nikkan.co.jp/eve/smart/>

●九都県市エコドライブ講習会(エコトレーニング)

日時:(1日目)6月14日(火)

(2日目)6月20日(月)

(3日目)6月25日(土)

(4日目)6月27日(月)

場所:(1日目)千葉県自動車練習所

(2日目)セイコーモータースクール

(3日目)KANTO モータースクール横浜西口校

(4日目)尾久自動車学校

主催:一般社団法人 日本自動車連盟

九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)

<http://www.9taiki.jp/news/2016/pdf/201604mousikomi.pdf>

●第9回 ECOMO 交通バリアフリー研究助成報告会

日時:2016年6月21日(火)15:45~17:40

場所:日本財団2階第1~3会議室

主催:交通エコロジー・モビリティ財団

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/bfyjyosei/2016/bfyjyosei_2016_report9_top.html

●第11回日本モビリティ・マネジメント会議

日時:2016年7月15日(金)、16日(土)

場所:松山市立子規記念博物館(道後温泉)

主催:一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議

<http://www.jcomm.or.jp/>

●第23回 ITS 世界会議メルボルン 2016

日時:2016年10月10日(月)~14日(金)

場所:The Melbourne Convention and Exhibition Centre (MCEC)

主催:メルボルン世界会議組織委員会

http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/melbourne_2016/

●くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2016

日時:2016年10月29日(土)、30日(日)

場所:東洋大学白山キャンパス

主催:くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

●第14回 ITS シンポジウム 2016

日時:2016年11月10日(木)、11日(金)

場所:北海道大学 クラーク会館

主催:特定非営利活動法人 ITS Japan、北海道大学

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/14th2016/

●エコプロ 2016(第18回)

日時:(1日目)2016年12月8日(木)10:00~18:00

(2日目)2016年12月9日(金)10:00~18:00

(3日目)2016年12月10日(土)10:00~17:00

場所:東京ビッグサイト 東ホール

主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2016/>

5. その他

- EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。
http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
<https://twitter.com/officeEST>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
配信申込はこちらから
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)の学校支援を募集中！（締切:6月中）
http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
<http://www.green-m.jp/>
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html
- 記事募集中！
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。
EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp (担当:熊井)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>